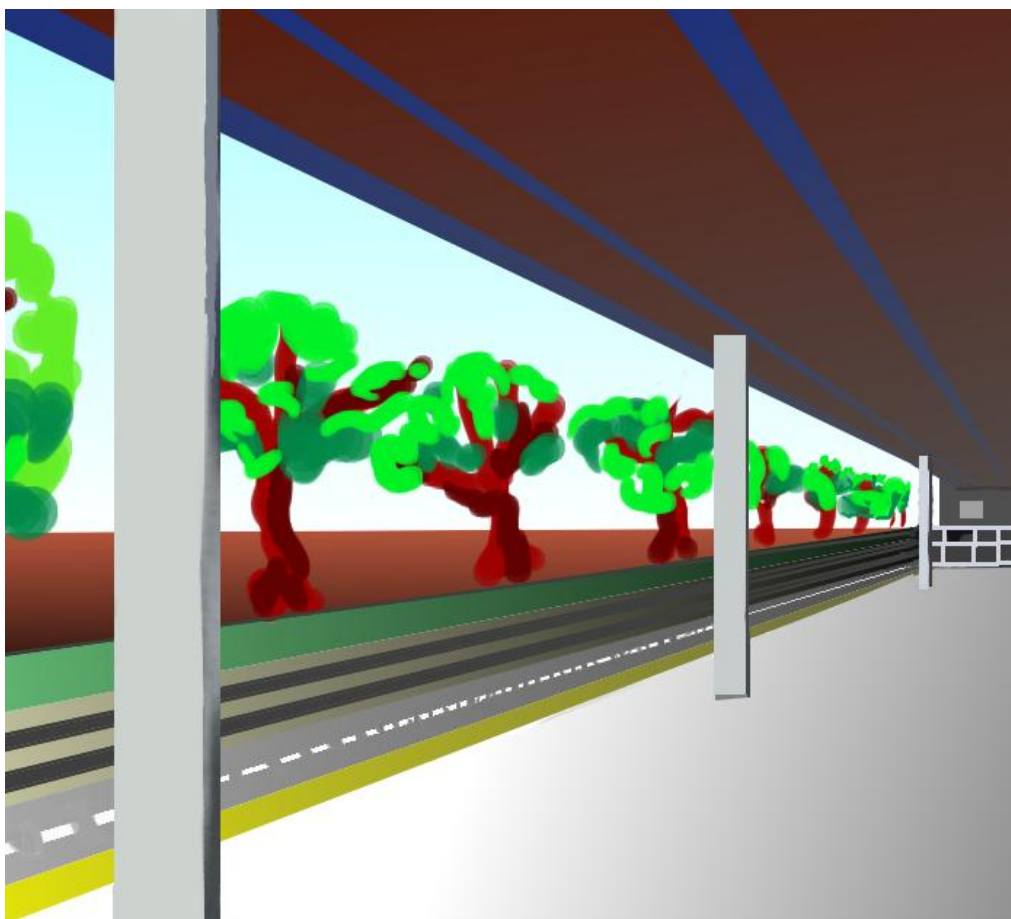


連作絵本 **想像**という現実～1

駅のホーム にて



東郷 潤

電車の駅のホームに、笑顔の人が立っています。



さあ、この人は、何を笑っているのでしょうか？

むろん、他人の心は読めません。なので
彼が何を笑っているのか、ちょっと想
像してみましょう。

…さあ、どんなことを想像しますか？
どんな想像だって出来るんですよ。だ
って、これは**ただの想像**ですもの。



たとえば、宝くじに当たって笑っているとか…。ね、想像するって、楽しいでしょう？

もちろん、嫌なことだって想像できる
んですよ。

・・・たとえばそうですね、あの人が笑
顔なのは、心の中で、あなたを馬鹿にし
て笑っているんだって、想像してみま
しょうか。



少し、腹が立ちましたか？ もう少し想像を続けてみましょう。

あの人、心の中で、あなたを馬鹿にして笑っている…



あの人、心の中で、あなたを馬鹿にして笑っている…



あの人、心の中で、あなたを馬鹿にして笑っている…

ククハハハハ!







ね！

あなたも、ただ想像するだけで、誰かを殺すほど怒ることが出来るんですよ。

人には想像力という、とてつもなく大きな能力があるのです。

あとがき 一絵本「駅のホームにて」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2010